努力と挑戦

▲鹿島アントラーズの小笠原選手、本山選手、中田選手との記念写真。
鹿島アントラーズの選手は「夢に向かって頑張って欲しい」と中学生にエールを送りました。

現在、小学校72名、中学校42名の子どもたちが広野町に通学しています。

朝夕のバス移動のため、勉強や運動をする時間は限られています。

しかし、広野の子どもたちはそのような環境の中でも、最大限の努力と挑戦する気持ちで日々頑張っています。

「皆さんの努力は、僕たちが一番知っています。練習時間の限られた中、それぞれの種目の技能の向上を目指して取り組む姿は、とても立派でした。他校より人数も少なく、活動する時間も制限のある中で、今まで皆さんが身につけてきたすべてを出し切ることが、結果につながるように思います。」

これは、中体連陸上大会の壮行会で生徒会長が選手に向けて送った言葉です。

他校よりも人数も少なく、活動する時間も制限がある中で最大限の努力と挑戦する気持ちで、見事に県大会、全国大会の切符を勝ち取った「ひろのっこ」。

今月号は、そんな「ひろのっこ」の想いに迫りました。

毎日続けることが大切

「毎日続けることが大切です」。

そう話すのは、先日行われた相双地区中体連１５００ｍで見事優勝を飾った根本妃奈さん。

現在、学校が始まる前に、30分のジョギングを欠かさず行っている。

根本さんは、毎週水曜日と土曜日は、ふくしま駅伝の練習に参加。この他にも毎日、バドミントン部の部活も行っている。

根本さんは、「マラソンの練習は本当にきついけど、練習を終えた後の達成感が好きです。限られた時間の中でも毎日継続して練習すること。それが大切だと思います」とマラソンに対する思いを語ってくれた。

７月に行われる県大会に向けて根本さんは、「今までの練習の成果をすべて出して、１５００ｍの自己ベストである５分05秒を更新したい」と力強く話してくれた。

中学生活における今後の目標は、１５００ｍの県大会で優勝することだ。

根本　妃奈（ひな）さん（広野中学校２年生）

相双地区中体連
女子1, 500m　優勝
第３回福島県中長距離記録会
女子800m　　第３位

好きな野球だから頑張れる

高円宮全日本学童軟式野球大会への出場を決めた阿部倫太郎くん。

阿部くんは、小学３年生まで広野町スポーツ少年団に所属。震災後、いわき市にある小名浜野球スポーツ少年団で、週５日練習に励んでいる。毎日の素振り１００回は日課である。

小名浜野球スポーツ少年団は、福島県内屈指の強豪チーム。そこで切磋琢磨し、見事、全国大会の切符を勝ち取った。

阿部くんは、「辛くても好きな野球だから頑張れます。広野町スポーツ少年団の大和田監督に活躍している姿を見せたい」と話してくれた。

阿部くんの夢は、野球選手。夢を叶えるための挑戦はまだ始まったばかりだ。

阿部　倫太郎（りんたろう）くん
（広野小学校６年生）

高円宮全日本学童
軟式野球大会出場
（小名浜野球スポーツ
少年団に在籍）

限りある時間の中で集中すること

相双地区中体連の走り幅跳びで、見事第２位に輝いた鈴木昂也さん。

普段は、日々受験勉強とバドミントンに励む中学３年生である。

中体連の走り幅跳びの練習に費やせた時間は、毎日、部活前の約30分。限られた時間の中で鈴木さんは、「毎回の練習で、自分の記録を伸ばそうと集中して練習しました」と話してくれた。

県大会に向けて、鈴木さんは、「自己記録を更新して悔いのないよう出し切りたい」と話してくれた。

鈴木　昂也（こうや）さん
（広野中学校３年生）
相双地区中体連
走り幅跳び　第２位